

生活単元学習指導案

令和3年11月〇日（〇曜日）第〇校時 中学部3年教室 生徒11人
指導者 〇〇 〇〇（T1）
〇〇 〇〇（T2）
〇〇 〇〇（T3）
〇〇 〇〇（T4）

1 単元名 「〇〇ショップの店員になり、製品の販売をしよう」～作業製品販売会に向けて～

2 考察

(1) 教材観

本単元は、中学部の作業製品販売会に向けて、店員としての役割や接客マナーを考えながら、クラスの仲間と協力して販売を行う学習である。生活科（「様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすること。」特別支援学校学習指導要領 生活科3段階カ役割）を中心に、個に応じて自立活動や各教科等の指導内容を取り扱う。

4月以降の学習の中で、「カッコいい中学部3年生」を目指して、それぞれの生徒が「このような3年生になりたい」「～ができるようになりたい」というイメージや希望をもって、学級目標を設定したり、修学旅行に向けて集団活動を行ったりする学習に取り組んできた。修学旅行に向けた学習では、クラスごとにリーダーや地図係などの役割を決め、約束やマナーを守って歩行する学習や、友達と協力して目的地を目指す活動を通して、自分の役割を果たすためにどのように行動すればよいかを考える学習を行った。本単元では、校内での作業製品販売会において店員としての役割を果たせるように、それぞれの生徒が「このような店員になりたい」「～ができるようになりたい」というイメージや希望をもって、自分で目標を決めたり、どのように行動すればよいかを考えたりしながら接客することを目指す。本単元での学習を自信にして、今後の高等部入学試験や卒業式などの行事と関連を図り、「カッコいい中学部3年生」を目指した学習に取り組んでいく。

(2) 生徒の実態及び指導方針

本学習集団は、中学部3年生の11名である。視覚的な支援や個別の支援を行いながら、活動の目標や内容、約束やルールの確認を行い、それぞれの生徒が自分の役割を理解して活動できるように支援していくことが必要である。また、4月からの学習を経て、「カッコいい中学部3年生」を目指すという意識が少しずつ定着してきている。教師と一緒に今までの学習を振り返ったり、生かしたりしながら、本単元では、「すてきな店員さん」を目指すという共通の目標をもち、役割やマナーを意識して接客することや、自分たちの行動を考えたり見直したりする経験を重ねていきたい。本単元に関わる生徒の個別の実態は以下のとおりである（以下省略）。

3 研究との関わり

研究協力校の中学部教師13名を対象とし、生活単元学習の授業の現状と教師の意識を調査するアンケートを実施したところ、生活単元学習における課題として、「前単元の学習を生かすこと」や「目的や目標、育てたい力の設定」、「一人一人の実態に応じて学習を組み立てること」が難しいことが挙げられた。これらの課題を解決するために、自立を目指すという点で共通しているキャリア教育の視点に着目した。キャリア教育については、平成29年4月に告示された特別支援学校学習指導要領（小学部・中学部）において「学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう」キャリア教育の充実を図ることが示された。また、本県においては「第2期群馬県特別支援教育推進計画」の中で、「キャリア教育に係る実践力を高めるために、個別の指導計画を活用した組織的、計画的」な指導を蓄積、共有することを推進すると示された。本研究では、生活単元学習の課題を解決するために、日々の授業の中にキャリア教育の視点を取り入れ

ることが有効であると考え、生徒の特性やよさを可視化して自立に関わる実態を明らかにすることを目指す、積み上げシートと、明らかにした実態を生かして自立に向けて育てたい力と支援を設定して単元のねらいの達成を目指す、共有シートの作成を行った。本単元においては、教師が積み上げシートと共有シートを活用しながら授業づくりを行い、教師が一人一人の自立に関わる実態を明らかにし、自立に向けて育てたい力と支援を設定することで、生徒が生活単元学習のねらいを達成し、自立につながる力を身に付けることができたか検証していきたい。

4 単元の見どころ

人と接する上で大切な態度を理解して製品販売を行うことができる。

5 指導の評価の計画（全3時間予定）

(1) 評価規準

評価の観点	趣旨
製品販売での活動に必要な知識・技能	校内での作業製品販売会において店員として販売をするための学習であることを理解し、店員としてどのような態度や行動がふさわしいかを考え、実行しようとする。
自分の役割を達成するための思考・判断・表現	クラスでの役割分担の中で、自分の役割（レジ係・お金係・商品を袋に入れる係・商品を渡す係）を達成するために、どのように行動すればよいかを考え、実行しようとする。
自分たちの行動を見直し、よりよい行動の仕方を実行しようとする主体的に学習に取り組む態度	クラスでの販売練習での自分の役割や行動を見直し、作業製品販売会に向けて、店員としてふさわしい行動の仕方を考え、実行しようとする。

(2) 単元計画

時 程	過 程	○学習活動 ・指導上の留意点及び支援	ねらい	評価の観点			評価の方法
				知	思	態	◎研究に関わる評価 ●学習改善につなげる評価
第 1 時	つ か む	〇〇ショップの店員になり、製品の販売をしよう～作業製品販売会に向けて～					
		すてきな店員さんになるために、目標を決めて練習しよう					
		○「作業製品販売会で店員として手伝ってほしい」という依頼の動画を見る。 ・店員の仕事を「やってみよう」「手伝おう」という意欲をもてるようにする。	〇〇ショップの店員になる、という学習の目的を理解する。				
		共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動					
		○ふさわしい店員例とふさわしくない店員例の動画を見	動画を見て、店員としてよいとこ				◎ふさわしい店員例とふさわしく

		<p>て、店員の役割や店員として望ましい態度を大まかに理解する。</p> <p>○役割ごとに分かれて、仕事内容を確認し、接客の練習をする。</p> <p>・役割の難易度を調整し、実態に応じた課題設定や支援を行う。</p>	<p>ろや悪いところに気付く。</p>	●		<p>ない店員例の動画を見比べる活動を設定することで、生徒が店員の役割や望ましい態度について考えている。</p> <p>●店員としてどのような態度や行動がふさわしいかを考え、練習をしている。</p>
第2時	追究する	<div> <div> <p>すてきな店員さんになるために、目標を決めて自分の仕事をしよう</p> </div> <div> <p>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</p> </div> </div> <p>○作業製品販売会に向けて、クラスごとに役割分担をして販売練習を行う。</p> <p>・役割の難易度を調整し、実態に応じた課題設定や支援を行う。</p> <p>・自分で目標を決めて、達成を目指して取り組むことができるように支援する。</p> <p>○販売練習の様子を動画で振り返り、役割を果たしている姿や接客のポイントを確認する。</p> <p>・動画を見ながら、各自の役割に着目して活動を振り返り、よくできたことを称賛し、自信をもてるようにする。</p>	<p>クラスでの販売練習で、自分の役割の内容やふさわしい態度が分かる。</p> <p>活動を振り返り、自分や友達のよくできたことに気付く。</p>	●		<p>◎一人一人の実態に応じて、役割を設定し、達成できるように支援することで、生徒が主体的に活動している。</p> <p>●教師の支援を受けたり、道具を活用したりして自分の役割を果たそうとしている。</p>
第3時	まとめる	<div> <div> <p>すてきな店員さんとして、自分の仕事をしよう</p> </div> <div> <p>共有シートから、自分で考えたり、選択したりする活動</p> </div> </div> <p>○作業製品販売会で、店員として自分の役割を果たす。</p> <p>・前時にできたことに自信をもち、役割を果たせるよう支援する。</p>	<p>店員として自分の役割を果たすことができる。</p>			<p>◎一人一人の実態に応じて、役割を設定し、達成できるように支援することで、</p>

		○販売の様子を動画で振り返り、できたことや褒められたことを確認する。 ・各自の役割に着目して活動を振り返り、よくできたところを称賛し、自信をもてるようにする。	活動を振り返り、自分や友達のおかげでできたことに気付く。	●	生徒が主体的に活動している。 ●教師の支援を受けたり、道具を活用したりして自分の役割を果たそうとしている。
--	--	--	------------------------------	---	--

6 展開（第1時：つかむ）

(1) 本時の目標

ふさわしい店員例とふさわしくない店員例の動画を見て、店員としてどのような態度がよいのかを考え、練習することができる。

(2) 準備

店員としての依頼の動画、ふさわしい店員例とふさわしくない店員例の動画、接客で使う道具（計算機、袋）

(3) 展開

○学習活動 ・予想される児童生徒の反応	時間	・指導上の留意点及び支援 ☆個別に行う支援等 ◇研究の検証に関わる支援 ◎研究の検証に関わる評価基準 ●学習改善につなげる評価
○作業製品販売会で「店員として手伝ってほしい」という依頼の動画を見る。 ○単元のめあてをつかむ。	10 分	・作業製品販売会で店員になるという学習の目的や必要性を理解し、意欲が高まるようにする。 ・店員の仕事を「やってみよう」「手伝おう」という意欲をもてるようにする。
<div>○○ショップの店員になり、製品の販売をしよう～作業製品販売会に向けて～</div>		
<確認したいこと> ・作業製品販売会の店員の依頼がきたこと ・すてきな店員になるために、どのような態度がよいのかを考えて、練習する学習をすること ○本時のめあてをつかむ。		・今までの学習を生かし、本単元で学習することで、「すてきな店員になれる」と自信と意欲をもてるようにする。
<div>すてきな店員さんになるために、目標を決めて練習しよう</div>		
<div>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</div> ○ふさわしい店員例とふさわしく	35 分	◇ふさわしい店員例とふさわしくない店員例の動画

<p>ない店員例の動画を見て、店員の役割や店員として望ましい態度を大まかに理解する。</p> <p>＜すてきな店員さんのポイント＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいな言葉遣いで ・大きな声で ・相手の目を見て <p>＜予想される生徒の反応＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すてきな店員さんを目指して頑張ろう <p>○役割をくじ引きで決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジ係、お金係 ・商品を袋に入れる係、渡す係 <p>○役割ごとに分かれて、仕事内容を確認し、接客の練習をする。</p>		<p>を繰り返し見て、店員の役割や店員としてよいところ、悪いところに気付けるようにする。</p> <p>◇生徒の発言を中心に、すてきな店員のポイントや望ましい態度を整理していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割のポイントや望ましい態度について教師が例示しながら確認をする。 <p>◎ふさわしい店員例とふさわしくない店員例の動画を見比べる活動を設定することで、生徒が店員の役割や望ましい態度について考えている。</p> <p>・くじ引きを行うが、生徒の実態に応じた仕事ができるように役割を振り分けて発表する。</p> <p>◇役割の難易度を調整し、実態に応じた課題設定や支援を行う。</p>
<p>共有シートから生徒 H のキャリアポイント:教師の手本を見たり、教師の促しを受けたりしてお辞儀などができる。</p> <p>育てたい力:教師の支援を受けて伝えようとする力</p> <p>支 援 :イラストや写真で選択肢を提示する。教師が手本を示し、模倣できるようにする。</p>		
<p>◎教師が何をするかを伝えて手本を示すことで、模倣して役割を果たしている。</p>		
<p>共有シートから生徒 J のキャリアポイント:動画を見て、よい例を実践できる。</p> <p>育てたい力:将来を意識して計画・立案・実行しようとする</p> <p>支 援 :将来の生活とのつながりを意識できるようにする。ポイントを声掛けて伝える。手本を示す。</p>		
<p>◎動画から店員として働くときのよい姿のイメージをもって、役割を果たしている。</p>		
<p>○仕事内容を理解したら、レジ係とお金係、商品を入れる係と渡す係と一緒に練習をする。</p>		<p>☆店員として、自分の役割を果たせることが分かり、「やってみよう」「できそう」と思えるように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係のネームカードを付けることで、自分の係を意識し、友達の係を確認できるようにする。 ・役割のポイントや望ましい態度を意識した言葉や行動が見られたときに、教師が皆に紹介しながら称賛し、自分や友達のよさや頑張りに気付けるようにする。 <p>●店員としてどのような態度や行動がふさわしいかを考え、練習をしている。</p>
<p>○練習の様子を動画で振り返り、店員の役割や望ましい態度を確認し、次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>5 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役割に着目して振り返り、自分や友達のよさに気付けるようにする。 ・店員になるという学習の目的とすてきな店員さんのポイントを再確認する。今回は、クラスごとに

		接客の練習をすることを確認する。
--	--	------------------

「〇〇ショップの店員になり、製品の販売をしよう」				I 組			
<単元目標>		人と接する上で大切な態度を理解して製品販売を行うことができる					
<主な活動・目標>							
過程	つかむ	I 時間	追究する	I 時間	まとめる	I 時間	
主な活動	ビデオでよい例、悪い例を見て人と接する上で大切なことを確認し、練習する		店員側、お客側に分かれ模擬販売を行う		中学部の生徒に対して販売を行う		
育てたい力	伝えようとする力		苦手なことに対処しようとする力		計画・立案・実行しようとする力		
選択・考える活動	店員として、どんな態度がよいのか考える		自分で目標を決めて接客の練習をする		これまで学んだポイントを意識しながら実践する		
具体例	ふざわしい店員例とふざわしくない店員例動画		接客のポイント		接客のポイント		
手立て	一人一人が集団において役割が得られるよう工夫する		活動後に、充実感や達成感、自己肯定感が得られるように指導する		自発的な活動を大切にし、主体的な活動を促すように指導する		
☆「つかむ」活動のキャリアポイント（キャリア教育の視点で特に重視したい活動）							
	キャリアポイント		特に重視したい活動で育てたい力		支援・留意点（上段は支援の一例）		評価
H	活動の実行		育てたい力	教師の支援を受けて伝えようとする力	イラストや写真で選択肢を提示する		◎80%
	教師の手本を見たり、教師の促しを受けたりしてお辞儀などを行うことができる		目指す方向性	双方向のコミュニケーションの成立を目指す	教師が手本を示し、模倣できるようにする		
J	活動の実行		育てたい力	将来を意識して計画・立案・実行しようとする力	将来の生活とのつながりを意識できるようにする		◎80%
	動画を見て、よい例を実践できる		目指す方向性	将来を意識して目標を設定し実行することを目指す	ポイントを声掛けて伝える手本を示す		

図 1 第 1 時の共有シート（生徒 H・J）

展開（第2時：追究する）

(1) 本時の目標

<全体>

自分の役割（レジ係・お金係・商品を袋に入れる係・商品を渡す係）を達成するために、どのように行動すればよいかを考え、目標を決めて販売練習をすることができる。

(2) 準備

店員としての依頼の動画、ふさわしい店員例の動画、各係のポイント、接客で使う道具（計算機、袋）、金銭、商品、ネームカード

(3) 展開

○学習活動 ・予想される児童生徒の反応	時間	・指導上の留意点及び支援 ☆個別に行う支援等 ◇研究の検証に関わる支援 ◎研究の検証に関わる評価基準 ●学習改善につなげる評価
○前時の学習内容を振り返る <確認したいこと> ・作業製品販売会の店員の依頼がきたこと ・すてきな店員になるために、どのような態度がよいのかを考えて、役割に分かれて、それぞれの仕事を練習したこと ○本時のめあてをつかむ	10分	・作業製品販売会で店員になるという学習の目的や必要性を確認する。 ・ふさわしい店員例の動画を見て、すてきな店員のポイントを確認する。 ・3年生が店員をすることで、1、2年生が買い物できることに気付き、他者を意識して接客するようにする。
すてきな店員さんになるために、目標を決めて自分の仕事をしよう		
共有シートから、自分で考えたり、選択したりする活動		
○作業製品販売会に向けて、クラスごとに役割分担をして販売練習を行う。 <予想される生徒の反応> ・レジ係「僕は、正確に計算機で計算します」 ・商品を渡す係「僕は、袋を両手で渡します」		◇役割ごとに、主な仕事内容を確認する。前時によくできたところを称賛し、引き続き行えるようにする。 ◇自分で目標を決めて、達成を目指して取り組むことができるように支援する。目標設定に迷う場合は、目標例や仕事内容を提示する。 ☆客の気持ちを考え、どんな店員であるとよい印象かを考えるようにする。
共有シートから生徒Jのキャリアポイント：レジ係として実現可能な目標を一つ設定して取り組むことができる。 育てたい力：将来を意識して計画・立案・実行しようとする力 支援：将来の生活とのつながりを意識できるようにする。目標設定に迷う場合は仕事内容を示して確認する。		
◎店員としてふさわしい姿のイメージをもって、仕事内容の中から自分の目標を決めている。		

		◎自分の目標を決める活動を設定することで、自分の役割を確認し、本時の目標を考えている。
○クラスごとに、販売練習を行う。 ＜確認したいこと＞ ・自分の仕事をしっかりする ・挨拶やお礼の言葉を伝える	35 分	<ul style="list-style-type: none"> ・すてきな店員を目指して接客できるようにする。 ・係のネームカードを付けることで、自分や友達の係を確認できるようにする。 ・「いらっしゃいませと大きな声で伝えている」「正確に計算している」「両手で商品を渡している」などふさわしい店員としての姿が見られたときに、皆に紹介するように伝え、自分や友達のよいところに気付くことができるようにする。 <p>☆役割の仕事に慣れてきたら、徐々に教師の支援を減らし見守るようにする。</p>
<p>共有シートから生徒 H のキャリアポイント:教師の支援を受けて商品を袋に入れて、隣の友達に渡すことができる。</p> <p>育てたい力:教師の支援を受けて役割を理解する力</p> <p>支 援 :何をどのくらい行うか示し、できたと感じられるようにする。</p> <p>教師が手本を示し、模倣できるようにする。</p>		
◎教師が何をすればよいかを手本で示し、できたことを称賛することで、商品を袋に入れて、隣の友達に渡している。		
		<p>◎一人一人の実態に応じて、役割を設定し、達成できるように支援することで、生徒が主体的に活動している。</p> <p>●教師の支援を受けたり、道具を活用したりして自分の役割を果たそうとしている。</p>
○販売練習の様子を動画で振り返り、役割を果たしている姿や接客のポイントを確認する。 ＜予想される生徒の反応＞ ・「丁寧な言葉で挨拶していたね」 ・「両手で商品を渡してもらえて嬉しかった」	5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を見ながら、各自の役割に着目して活動を振り返り、よくできたところを称賛し、自信をもてるようにする。 <p>☆客役の生徒から気持ちを聞き取り、どんな店員であるとよい印象かを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割を果たしていたことを称賛する。
○次時は、作業製品販売会で店員として販売することを確認する。		<ul style="list-style-type: none"> ・店員になるという学習の目的を確認し、学習したことを生かしてすてきな店員さんとして接客することを目指す声掛けをする。

「〇〇ショップの店員になり、製品の販売をしよう」			組				
<単元目標>		人と接する上で大切な態度を理解して製品販売を行うことができる。					
<主な活動・目標>							
過程	つかむ	I時間	追究する	I時間	まとめる	I時間	
主な活動	動画でよい例、悪い例を見て人と接する上で大切なことを確認し、練習する。		店員側、お客側に分かれ模擬販売を行う。		中学部の生徒に対して販売を行う。		
育てたい力	伝えようとする力		苦手なことに対処しようとする力		計画・立案・実行しようとする力		
考えたり選択したりする活動	店員として、どんな態度がよいのか考える		自分で目標を決めて接客の練習をする。		これまで学んだポイントを意識しながら実践する。		
具体例	ふざわしい店員例とふざわしくない店員例動画		接客のポイント		接客のポイント		
手立て	一人一人が集団において役割が得られるよう工夫する		活動後に、充実感や達成感、自己肯定感が得られるように指導する		自発的な活動を大切にし、主体的な活動を促すように指導する		
☆「追究する」活動のキャリアポイント（キャリア教育の視点で特に重視したい活動）							
	キャリアポイント		特に重視したい活動で育てたい力			支援・留意点（上段は支援の一例）	評価
J	活動の実行		E5	育てたい力	将来を意識して計画・立案・実行しようとする力	将来の生活とのつながりを意識できるようにする	◎80%
	レジ係として実現可能な目標を一つ設定し取り組むことができる。			目指す方向性	目標を設定し実行することを目指す	目標設定に迷う場合は、仕事内容を示して確認する。	
H	活動の実行		GI	育てたい力	教師の支援を受けて学ぶことの意義や役割を理解する力	何をどのくらい行うか示し、できたと感じられるようにする	◎80%
	教師の支援を受けて商品を袋に入れて、隣の友達に渡す事ができる。			目指す方向性	教師と一緒に目標を決めて活動することを目指す	教師が手本を示し、模倣できるようにする。	

図2 第2時の共有シート（生徒J・H）

展開（第3時：まとめる）

(1) 本時の目標

＜全体＞

作業製品販売会に向けて、自分の役割（レジ係・お金係・商品を袋に入れる係・商品を渡す係）を達成するために、どのように行動すればよいかを考え、目標を決めて販売をすることができる。

(2) 準備

ふさわしい店員例の動画、各係のポイント、接客で使う道具（計算機、袋）、金銭、商品ネームカード

(3) 展開

○学習活動 ・予想される児童生徒の反応	時間	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点及び支援 ☆個別に行う支援等 ◇研究の検証に関わる支援 ◎研究の検証に関わる評価基準 ●学習改善につなげる評価
○前時の学習内容を振り返る。 ＜確認したいこと＞ ・これから、3年生が〇〇ショップの店員になること ・店員としてどのような態度がよいのかを考えて練習したこと ・役割分担して、目標を決めて練習したこと ○本時のめあてをつかむ。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・作業製品販売会で店員になるという学習の目的や必要性を確認し、今まで学習してきたことを生かすことで、すてきな店員として接客ができることを伝える。 ・動画を見て、接客のポイントを確認する。 ・3年生が店員をすることで、1、2年生が買い物できることに気づき、他者を意識して接客するようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">すてきな店員さんとして、自分の仕事をしよう</div>		
○役割ごとに、仕事内容を確認し、本時の目標を決める。 ＜予想される生徒の反応＞ ・計算係 「僕は、間違えないように丁寧に計算します」 ・商品を渡す係 「僕は、ありがとうございます、と言いながら両手で渡します」		<ul style="list-style-type: none"> ・レジ係、計算係、商品を袋に入れる係、渡す係に分かれてそれぞれの仕事内容と目標を確認する。 ☆役割ごとに、主な仕事内容や前時によくできたところを確認し、引き続き行えるようにする。 ☆目標設定に迷う場合は、目標例や仕事内容を提示する。 ☆自分で目標を決めて、達成を目指して取り組むことができるようにする。 ☆客の気持ちを考え、どのような店員であるとよい印象かを確認する。
<p>共有シートから生徒Jのキャリアポイント：レジ係として実現可能な目標を一つ設定して取り組むことができる。</p> <p style="text-align: center;">育てたい力：将来を意識して計画・立案・実行しようとする力</p> <p style="text-align: center;">支援：将来の生活とのつながりを意識できるようにする。目標設定に迷う場合は仕事内容を示して確認する。</p>		
◎店員としてふさわしい姿のイメージをもって、仕事内容の中から自分の目標を決めている。		

<div>共有シートから、自分で考えたり、選択したりする活動</div> <p>○作業製品販売会で、店員として自分の役割を果たす。</p> <p><確認したいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事をしっかりする ・挨拶やお礼の言葉を伝える 	35 分	<p>◇前時にできたことに自信をもち、役割を果たせるように支援する。</p> <p>◇「いらっしやいませと大きな声で伝えている」「正確に計算している」「両手で商品を渡している」など役割を意識している姿が見られたときに、皆に紹介するように伝えるようにする。</p> <p>☆仕事に慣れてきたら、徐々に教師の支援を減らす。</p> <p>◇自分で目標を決める活動を設定することで、目標を達成できるように主体的に接客している。</p>
<div>共有シートから生徒 H のキャリアポイント:教師の支援を受けて商品を袋に入れて、隣の友達に渡すことができる。</div> <p>育てたい力:教師の支援を受けて役割を理解する力</p> <p>支 援 :何をどのくらい行うか示し、できたと感じられるようにする。</p> <p>教師が手本を示し、模倣できるようにする。</p> <div>◎教師が何をすればよいかを手本で示し、できたことを称賛することで、商品を袋に入れて、隣の友達に渡している。</div>		
		<p>◎一人一人の実態に応じて、役割を設定し、達成できるように支援することで、生徒が主体的に活動している。</p> <p>●教師の支援を受けたり、道具を活用したりして自分の役割を果たそうとしている。</p>
<p>○販売の様子を動画で振り返り、できたことや褒められたことを確認する。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「正確に計算できました」 ・「ありがとうと言われて嬉しい」 	5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子を動画で振り返り、自分や友達のよいところや頑張りに気付けるようにする。 ・自分の役割を果たせたことを称賛する。 ・店員になるために学習してきたことを確認し、学習したことを生かしてすてきな店員さんとして接客できたことを確認し、称賛する。

「〇〇ショップの店員になり、製品の販売をしよう」				組		
<単元目標>		人と接する上で大切な態度を理解して製品販売を行うことができる。				
<主な活動・目標>						
過程	つかむ	1時間	追究する	1時間	まとめる	1時間
主な活動	動画でよい例、悪い例を見て人と接する上で大切なことを確認し、練習する。		店員側、お客側に分かれ模擬販売を行う。		中学部の生徒に対して販売を行う。	
育てたい力	伝えようとする力		苦手なことに対処しようとする力		計画・立案・実行しようとする力	
選択・考える活動	店員として、どんな態度がよいのか考える		自分で目標を決めて接客の練習をする。		これまで学んだポイントを意識しながら実践する。	
具体例	ふざわい店員例とふざわしくない店員例動画		接客のポイント		接客のポイント	
手立て	一人一人が集団において役割が得られるよう工夫する		活動後に、充実感や達成感、自己肯定感が得られるように指導する		自発的な活動を大切に、主体的な活動を促すように指導する	
☆「まとめる」活動のキャリアポイント（キャリア教育の視点で特に重視したい活動）						
	キャリアポイント		特に重視したい活動で育てたい力		支援・留意点（上段は支援の一例）	評価
J	活動の実行		育てたい力	将来を意識して計画・立案・実行しようとする力	将来の生活とのつながりを意識できるようにする	◎80%
	レジ係として実現可能な目標を一つ設定し取り組むことができる。		E5 目指す方向性	目標を設定し実行することを目指す	目標設定に迷う場合は、仕事内容を示して確認する。	
H	活動の実行		育てたい力	教師の支援を受けて学ぶことの意義や役割を理解する力	何をどのくらい行うかを示し、「できた」と感じられるようにする	◎80%
	教師の支援を受けて商品を袋に入れて、隣の友達に渡す事ができる。		G1 目指す方向性	教師と一緒に目標を決めて活動することを目指す	教師が手本を示し、まねできるようにする。	

図3 第3時の共有シート（生徒J・H）